

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～22℃台を示し、やや低め～平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の73%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の75%（前年並み）。
- イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり37kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 定置網——五島魚目地区では、マルソウダなどが1日1統当たり546kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり82kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり501kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり185kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり21kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/25～11/29の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北側で操業するも荒天のため各地入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖及び佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-26号 今期のトビウオ漁模様とトビウオ漁況予報の検証」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>